

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)パナソニック城西三荘駅前ビル	階数	地上7F
建設地	大阪府門真市元町	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	1,466 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、物販店、飲食店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年1月 予定	評価の実施日	2021年9月9日
敷地面積	7,757 m ²	作成者	株式会社竹中工務店 須賀定邦
建築面積	4,753 m ²	確認日	2021年9月9日
延床面積	24,471 m ²	確認者	株式会社竹中工務店 須賀定邦



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:☆☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 4.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.7

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
建物利用者が快適に過ごせるよう照明・空調計画に配慮するとともに、地域住民との交流の場を設けるなど、地域に根付いた施設となるよう計画をした。またバルコニーの底形状による日射低減や卓越風を用いた自然換気促進など建築的工夫によるエネルギー負荷低減、自然エネルギーの活用をすることで省エネルギーを図っている。		特に無し
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
開口部遮音性能や外皮性能に配慮し、室内環境の向上に努めるとともに、明るさ制御を用いた照明計画を行うことで、日中の屋光を最大限利用している。また西側にはLow-Eガラスを採用し、空調設備の効率化に配慮をし	居室内は直天井とすることで、空間の広がりをもたらし、設備機器の修繕・更新などにおけるメンテナンス性の向上を図っている。	敷地内に道路に面してソメイヨシノを配置し、エリヤー帯の桜並木を形成するなど、敷地内からの連続した緑地づくりに努めた。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
高効率パッケージエアコンやLED照明器具など、省エネルギー設備機器を積極的に採用した。	省水器具の採用、リサイクル材の使用や再利用可能な部材を用いるなど、水資源保護や非再生性資源の使用量削減を図っている。	雨水流出抑制対策の実施や光害の対策など地球環境や周辺環境への配慮を行なっている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R03-0056

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)パナソニック㈱西三荘駅前ビル計画					
	建設地	大阪府門真市元町					
	用途/区分	事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					S	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					4	
③	建物の断熱性					3	
④	エネルギー削減					5	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

	エネルギー消費量の報告	報告しない
--	-------------	-------

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.2	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	4.0	4
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	4.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.4	3
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	4.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

【その他】		
	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		